

科目名	ミュージックリテラシー 4								年度	2025
英語科目名									学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 2 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	研井 陽介			教員の実務経験		有	実務経験の職種		ライブ制作/アーティストマネジメント	
【科目の目的】										
音楽を職業として成立するために重要な著作権を基軸として、さまざまな権利の必要性和その行使方法の理解を深めることで、職業として音楽を捉える意識を高めることや、ビジネスチャンスを発見したり生み出したりする可能性を広げることを目的とする。										
【科目の概要】										
音楽業界、音楽に関連した職業に就くための知識の幅を広く学習します。アーティストとともに仕事をするうえで、音楽コンテンツ作成の流れやアーティストの仕事の流れの理解を目的とします。										
【到達目標】										
音楽ビジネスにおける様々な業界・職業の存在とその役割、それぞれの関係性を把握すること、自身の考えを表現したり、他者の意見から学ぶコミュニケーション力を身につけることを目標としている。と同時に、音楽業界における様々な職種の、いずれに進むことになっても、その他の職種への理解とリスペクトを持つことができるようになることを目標とする。										
【授業の注意点】										
実際に音楽業界で求められるキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1					
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力					
到達目標 A	著作権全てを理解し ビジネスに展開する 思考を持てる		著作権の話の内容を理解でき 応用に繋げる姿勢がある		著作権の単語のみ理 解しているが 説明はできない					
著作権の話の内容を理解できる										
著作権の話の大枠を理解できる										
到達目標 B										
到達目標 C	著作権の概要を理解 でき、他人に説明ができる		著作権の話の大枠を理解できる							
到達目標 D	著作権の概要を理解している				著作権の概要を理解 していない					
到達目標 E	著作権の大枠を理解できている									
【教科書】										

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。							
【参考資料】							
適時、動画上に資料を提示。状況によっては参考プリントなどを配布。							
【成績の評価方法・評価基準】							
*試験と課題を総合的に評価する。 *積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		ミュージックリテラシー 4				年度	2025
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	著作権について	前期講義内容の理解の深化	1	前期を通して著作権を知る	著作権の知識を再認識	3	
2	保護期間が終了した著作物	パブリックドメインの理解	1	保護期間が終了した著作権がどうなるのか	著作権の保護期間が終了した作品はどうかを理解する	3	
			2				
			3	パブリックドメイン意味	パブリックドメインの意味を理解する		
3	演奏権の制限 実演家の権利①	実演家の権利の理解	1	著作権の制限		3	
			2	実演家の権利	実演家の権利を理解し、著作者との違いを理解する		
			3				
4	実演家の権利②	実演家の権利の理解	1		実演家の権利を理解し、著作者との違いを理解する	3	
			2	実演家の権利			
			3				
5	レコード製作者の権利	レコード製作者の権利の理解	1	レコード製作者の権利	レコード製作者の権利を理解し、著作者と実演家の違いを理解する	3	
			2				
			3				
6	著作者人格権について	著作者人格権の理解	1	財産権と人格権の違い	財産権と人格権の違いを理解する	3	
			2	人格権の権利	権利がどのようなになっているのかを理解する		
			3	人格権の保護期間	保護期間の理解と財産権の保護期間の違いを理解する		
7	著作隣接権の保護期間	実演家とレコード製作者の保護期間を理解	1	実演家の保護期間	実演家の保護期間を理解する	3	
			2	レコード製作者の保護期間	レコード製作者の保護期間を理解する		
			3	著作権との違い	著作者隣接権と著作権の保護期間の違いを理解する		
8	著作権管理団体について	著作権管理団体を理解	1		著作権管理団体がどのようなものか、著作権との関わり存在の意義を理解する。	3	
			2	著作権管理団体			
			3				
9	音楽ビジネスを取り巻く組織①	実演家・レコード製作者を守る団体について理解	1	実演家を守る組織	実演家を守るために存在する組織を理解する	3	
			2	レコード製作者を守る組織	レコード製作者を守るために存在する組織を理解する		
			3	ライブにおける組織	ライブに関わる必要な知識を理解する		
10	音楽ビジネスを取り巻く組織②	放送媒体の理解	1	テレビについて	テレビと著作権のとの関わりの理解	3	
			2	ラジオについて	ラジオと著作権のとの関わりの理解		
			3	音楽との関わり	1.2を踏まえたすべての関わりを理解する		
11	著作権法の改正	現代と昔の著作権の理解	1	著作権の歴史	著作権の歴史と現代と昔の違いを理解する	3	
			2				
12	付随的著作物	付随的著作物の理解	1	写り込みについて	付随的著作物の意味を理解する	3	
			2	付随的著作物の例	日常的な付随的に著作物の例を基に理解する		

13	映画の著作権①	複雑な著作権の例を学ぶ	1	映画の著作者	映画における著作者を理解する	3
			2	映画の実演家	映画における実演家を理解する	
			3	映画のレコード製作者	映画におけるレコード製作者を理解する	
14	映画の著作権②	複雑な著作権の例を学ぶ	1	製作者委員会とは	映画の仕組みを理解する	3
			2	ビジネスモデル	著作権に関する映画のビジネスモデルを理解する	
			3	総括	著作権の総括	
15	試験対策	後期試験対策	1	後期試験対策	テスト範囲と前期の内容を理解	3
			2			
			3			
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						